

令和5年度夏季研修Ⅲ（ICT活用研修）のまとめ

7月31日（月）令和5年度夏季研修Ⅲ（ICT）研修を行いました。当日は、講師の岐阜女子大学教授の横山先生、谷汲中学校の藤林教頭先生、郡教育研究員（ICT）の大野小学校の木下先生にお話していただき、郡内小中学校の先生方90名ほどに参加いただきました。

アンケートのご回答をもとに研修の成果をまとめましたので、今後にご活用ください。

Ⅱ 研修参加者のICT活用能力について

	ICT活用能力（研修参加者の自己評価）	割合
1	ICTを十分活用でき、学校のICT活用推進のリーダーである。	2.3%
2	ICTを十分活用でき、自分の職務の充実やスリム化につながられている。	3.4%
3	ICTを活用でき、活用できる場面で自分の職務に生かしている。	35.2%
4	ICTをある程度活用でき、ICT活用を取り入れるようにしている。	36.4%
5	ICT活用はあまり得意ではないが活用できるよう努力している	19.3%
6	ICT活用が得意ではなく、ICT活用が進んでいくことに戸惑いや困り感がある。	3.4%

Ⅱ 木下先生のご講話について ＜授業でのICT活用＞

授業等でのICT活用についての木下先生のご講話についての感想や学んだこと、これから自分の実践で生かしていきたいと思ったこと

- 日常の中で活用できる具体的なアプリや活用の場を提案していただき、早速本校でも実践できそうな手応えを感じた。自分の学級でできることは何か考え、取り入れていきたいと感じました。
- 理科の実験などでのアクションショットが活用、スピーチや書写などの動画も生徒に提出させ、評価することなどにつなげていきたいです。各教科でのさらなる活用方法が見えてきました。
- 授業での実践では、発表ノートとカメラ機能、画面共有を有効に活用して、児童の意見交流の場を作りたいと思いました。これを行えば、多くの児童が、自分と同じ考え方、異なる考えをもつ仲間を見つけ、交流のきっかけにすることができると感じました。また、発言することが苦手な児童にとっても自分の意見を知らせてもらえる」教師に評価してもらえることができると感じました。
- これまでに取り組んできたことの裏付けができて心強かったです。活用の遅れていたぎふWebラーニングのよさが実感できたし、体育の実技の動画撮影がもうひとつうまくできていて困っていたので、提案をすぐに試したいと思いました。
- 教育相談アンケートをICT活用すれば、即報告、即相談がやりやすくなるので、是非実践したいと思いました。
- 小学1年生でも活用できることに驚きました。本校でもタブレットで教育相談を行なっているのですが、小学校では無理かな？と思っていたのですが、出来るのだと思いました。
- 保健委員会で活用している話をされたので、2学期に実践しようと考えています。委員会活動での活用ができていないので、効果的に活用できる場を積極的に考えたいと思いました。
- 木下先生のご実践では、GifuWebラーニングの活用などにおいて、児童一人一人の学習進度を把握して指導に生かしたり、協働的に学ぶために生かしたりすることを示していただきました。本校は、小集団での学びを中心に実践を進めておりますが、順次、こういった学習活動にも積極的に取り入れていきたいと思いました。

Ⅲ 藤林教頭先生のご講話について ＜校務のスリム化、教職員の仕事の効率を上げるICT活用＞

学校運営でのICT活用、校務のスリム化のためのICT活用に関する藤林教頭先生のご講話についての感想や学んだこと、これから自校や自分の職務で生かしていきたいと思ったこと

- いつでもどこでもリアルタイムで最新の情報が得られるのはとてもうらやましく感じました。自動で必要な情報がPCに出てくるともれがなくできると感じました。今までの当たり前を見直し、勇気をもってやめると言うことが一番重要だと感じました。授業以外の部分でも、管理職の先生方が中心となって導入して行っていただきたいと感じました。
- 目からウロコの活用実践で、校務のスリム化の可能性をこれまで以上に感じました。お忙しい日常の中で、精力的に情報収集や試行錯誤に取り組まれておられることに感服しました。
- グーグルカレンダーが魅力的でした。使ってみようと思いました。効率よく仕事が進むように活用したいです。Googleカレンダーを使って職員に校務の分担や共有がスムーズにされていることや個人懇談の予定の組み方など様々な場面で時間がかかる作業を短くできていて魅力的に感じました。
- 個別懇談のアンケートフォームを取り入れたり、提出機能を活用し、コンパクトな成績処理を心がけたいと思いました。また校外に向けての発信（保護者等）にも非常に便利だと感じました。
- 校務のスリム化について、手詰まりに感じていたところ、まだまだ知らないだけでできることがたくさんあるということに気づかせていただいた。校内でも実践的な交流を行って、有効な業務

のスリム化についての手立てを模索したいです。

- ICT の活用については、自分達がいかに仕事の効率化を進めるために必要となるものを見つけて使うという姿勢が必要であると感じました。ただ、本当に有効か豪華をしっかりと検証する必要があること、有料ソフトを使用する場合は特に注意が必要だと思います。
- これまで当たり前にしてきた業務を、思い切って ICT に切り替えてみるのが大切だと感じました。ICT への転換期にもう来ていると思うので、声を上げていきたいです。職員で分担して資料を作成したり、カレンダーを共有したりすることで、職員も便利になり、仕事の効率も上がると思うので生かしていきたいです。
- ICT の利用は生徒だけでなく、職員、保護者の方の負担減にも繋がると分かりました。最初の準備に手間がかかり、始められないことが多いと思うのですが、モニターを設置したり、無料の予約サイトを使われたりと来年度から更に働き方がスマートになると感じました。

IV 横山先生のご講演について 「児童生徒にとっての ICT 活用の意義・ICT が将来児童生徒にどのように生きるか・児童に生きる ICT を育てるための指導について」

児童生徒にとっての ICT 活用の意義、ICT 活用能力が将来どのように生きるか、児童に生きた ICT 活用能力を育てるための指導についての横山教授のご講演についての感想や学んだこと

- 文字通り別次元の数分間でした。紹介されたメタバースを研究・作成している学生さんは、若いとは言え 1 人 1 台端末以前の小中学生だったはずですが、今、目の前でタブレットを使いこなしている小学生が、数年後にどんな世界を作ることができるのか、楽しみでもあり、末恐ろしくもなりました。
- 今後、もっと AI が身近になってくると思うけど、そのような中、生きていかなければならない。利点と欠点、法との関わりも考えて活用していかなければいけないと思いました。メタバースやデジタルアーカイブなどについて知らないことばかりでした。苦手な分野ですが、教員が興味を持って取り組んでいきたいと思いました。
- メタバースで遠隔の地域の児童と交流をしたり、現地の背景を映しながら交流したりと学習の幅が広がるような可能性を感じました。また、AI の活用方法にも気をつけながら児童生徒の学習が広がっていくように取り組んでいきたいと思いました。
- メタバースの活用など、今後どんどん広がっていくと思います。普段は出会えない多くの人との交流が簡単にできると、見識も広がってよいと思いました。著作権について、生成 AI の実際について、メタバースの活用について、知識を得ることができた。今後学校現場で子供たちの学びにどのように活用していくことができるのか、議論して行かねばならないと感じました。
- 今日の ICT 技術がかなり進んでいて驚きました。常に進化していく技術に追いつくために、我々も自分で勉強していく必要があると感じました。一人一人のよさを知ることができるので、ICT の活用を進めていきたいと思います。将来は、感情や意志をもったロボットやメタバースを利用した世界が待っていると思うと少し不安になりましたが、有効活用していけるように勉強していきたいと思いました。
- AI については、話題になっているので気になっていたのですが、今回の講演で、一層勉強しなければという思いになりました。今は ChatGPT が使い始めやすいかと感じているので、まずは、試しに使い体感することから勉強していきたいと思っています。また、岐阜女子大学のメタバースの実践のすばらしさに目を奪われました。そういう時代なんだなあと、自分がついていけなさそうな危機感を感じました。ICT に使われるのでは無く、活用していくことが大切だと思いました。
- 今後、ICT 活用能力が必要な時代になっていく（もうなっているかもしれませんが）ことはわかりましたが、自分自身がその必要性や意義を理解して使えるようにしていかななくてはならないなと思いました。
- 不登校児童生徒や、身体に不自由がある子が、メタバース空間を通して生き生きと活躍をする場面や、AI をうまく活用した学習など、まだまだ可能性があり、私たちも実際に活用しながら学んでいく必要があると感じました。ありがとうございました。
- 先進的な活用を学べました。児童が将来活用できるように、見通しをもって基礎を身に付けさせたいと思います。また、メタバースの活用について、不登校児童の学習保障につなげていけるのではないかと可能性を感じました。

VI 令和 6 年度の研修についての希望 （令和 5 年度 ICT 活用研修参加者の意見）

1	ICT 研修	25. 3%
2	企業や専門機関からの講師を招いての研修	19. 5%
3	授業作りや教科指導に関する研修	13. 8%
4	教育相談・カウンセリングに関する研修	10. 3%
5	特別支援に関する研修	6. 9%

令和 5 年度の夏季研修Ⅲ（ICT 活用）に参加された先生方からは上記のような令和 6 年度の夏季研修に関する希望をいただきました。他の研修に参加された先生方のご意見も加え、センター運営委員会や校長会等の場で検討していただき令和 6 年度の研修については決定していきたいと思います。よろしくお願い致します。

（担当：揖斐郡教育研修センター 主幹 夏季研修Ⅲ（ICT 活用）担当 中村孝広）